

税に関する標語

中学生の「税に関する標語」の表彰式が12月3日に役場で行われました。矢嶋町長は「税金を納めることの大切さ、大変さを知っているからこそ無駄には使えない。大事に使ってこそ町民の幸せがある」と税金の使われ方の重要性について中学生に投げかけました。今回、町内で161点の応募があり、9名が表彰されました。入賞作品は財務課の通知封筒などに掲載し、税金に対する町民の意識向上に役立てていきます。

限りない

未来に架ける

税の橋



伊藤 恵都
(南中2年)

税金で

みんなの夢に

花咲かす



小林 誠
(南中3年)

税金を

納めて築く

未来の社会



植松 まな
(高原中3年)

諏訪税務署長賞

富士見町長賞

タワシカテザ(高原中3年)

税金は 社会を支える 大事なお金

小林絵理佳(高原中3年)

あなたの納める税金が
日本の社会を支えます

平出真奈美(南中3年)

ほらその あの花生きてる
あそこにも

小林 法美(南中3年)

税金で 豊かな心と 国づくり

小林 祥之(南中2年)

この税で 一歩進もう 明るい未来

岩田 絢貴(南中1年)

税金で みんなの夢をかなえよう

まちの話題

富士見保育園に ガラスモザイク画完成

日本装飾美術学校に在学の長谷重男さん(24歳)が12月11日、12日の2日間で富士見保育園の玄関前に白鳥をモチーフにしたガラスモザイク画を完成させました。

長谷さんは6月から構想を練って卒業制作として取り組んできました。1/2の模型を作り、試行錯誤を繰り返しながら、設置場所なども自分から交渉するなどいろいろな苦労をされたようです。

日本装飾美術学校の学生さんが作成した作品が私たちの身近なところでさり気なく収まっていることをとても嬉しく感じました。



日本装飾美術学校
長谷重男さん



文化芸術作品展第12回 『手作りの器と織物』開催のお知らせ

手作りの物には温もりがあります。日常の生活の中で使い込むほどに愛着もわき、味わいも出てきます。手作りの物たちが息づくような素敵な暮らしをしたいですね。

下記の招待券をご持参の上、ぜひご来館ください。(諏訪6市町村小中学生は常時入館無料です。)

切 取 線

文化芸術作品展 第12回『手作りの器と織物』

ご招待券

- 期 間
- 開館時間
- 休 館 日
- 出 展 者

平成17年1月9日(日)～2月20日(日)
午前9時30分～午後5時30分(入館は5時まで)
1 / 11・17・24・31 2 / 7・12・14
陶 遊 会

*本券1枚につき、町内一家族様までご観覧いただけます。

富士見町高原のミュージアム